

森林環境保全学特論（2単位）

担当者氏名 中村幸人・武生雅明・山崎晃司・福永健司・矢口行雄

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

林学専攻では森林の持続的な利用を可能にする保全のあり方を目指して、総合的な研究能力を養う教育目標がある。その中で森林環境保全学特論では、組成と構造による植生型を成立要因と対応させながら理解し、さらに攪乱など、植生が崩壊したあとの動態について、遷移、物質生産、多様性の変化などについて理解を深める。また、森林の成立に重要な土壌環境について特に菌根菌との共生を習熟する。さらに応用分野では緑化による生態系の回復のための技術やモニタリング手法を学び、理解を深める。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

森林型	生態系	生物多様性	持続的利用
治山砂防	緑化	モニタリング	土砂移動

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	講義内容の説明	森林の類型、植生の復元は中村が担当する。遷移は武生が担当する。最近注目されている菌根菌との共生に関しては矢口が担当する。治山・緑化に関する分野は特に「森林環境保全学特論実験」で取り扱う。担当者の講義が異なるために事前予習を行うこと、事後の復習は担当者ごとに分けて行うこと。
2	世界の植生・日本の植生	森林, 低木林, 草原の類型	
3	生態系の生物と環境	生態系を機能させる生物と環境	
4	植生遷移と遷移系列	異なる環境における植生遷移	
5	自然植生と代償植生	人間活動下での植生の破壊と成立	
6	遷移による属性の変化	遷移に伴う生態系の属性の変化	
7	遷移と生物多様性	遷移による生物相の変化を考える	
8	遷移と物質生産	遷移による生産量の変化を考える	
9	植生と成立基盤(1)	植生と地質の関係	
10	植生と成立基盤(2)	植生と表層地質の関係	
11	森林と菌根菌(1)	土壌における菌類の働き	
12	森林と菌根菌(2)	森林と共生する菌根菌	
13	緑化による植生回復(1)	植栽種の選択と地盤の整備	
14	緑化による植生回復(2)	植栽計画と施工	
15	緑化後のモニタリング	植栽後のモニタリングと管理	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

植生景観とその管理/中村幸人他/東京農業大学出版会(2014)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

森林の生態学/種生物学会/文一総合出版(2006)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

課題を課し、レポートで提出する。試験は行わず、講義中に意見を述べさせる。

◆オフィスアワー

毎週、火曜日の午後に研究室で質問を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項